

(第一紙) T12p223c06

1 毘邪婆問經卷上¹

- 2 如是我聞一時婆伽婆遊阿踰闍強伽河岸
- 3 与大比丘衆俱彼比丘衆所作已辦盡一切
- 4 漏無有障礙離有不退勤為禪誦²。跌而坐
- 5 隨何処坐有在地処二人相隨如法語論群
- 6 行如鵝如鴛鴦者有在空³舍有依樹根皆悉
- 7 行禪能取如來法之光明正住⁴。威儀復有無
- 8 量菩薩衆俱彼諸菩薩無量功德名稱普聞
- 9 彼処復有無量百千種種樹林多有姪欲俱
- 10 耆羅鳥孔雀鵝鳥群蜂等声娑羅枳樹枝葉
- 11 垂布如是処者欲心懈怠意睡頻申皆悉遠
- 12 離常有無量善香妙華
- 13 爾時仏告諸比丘言汝諸比丘常當勤行作
- 14 所応作持戒正行爾時世尊与慧命阿難陀
- 15 長老大迦葉長老舍利弗長老薄居羅長老
- 16 利波多阿若居隣⁵等大声聞俱歡喜語説
- 17 爾時西方有光明相猶如日輪時阿難陀漏
- 18 未盡故見彼相已即白仏言云何世尊西方
- 19 分処焰色光明甚有威德仏言阿難於此世
- 20 界有五通仙名毘邪婆提陀迦離婦人之子
- 21 有五百仙以為眷属住在彼処勤脩⁶苦行不
- 22 食而齋其身瘦瘠有命而已誦誦不住以為

(第一紙) T12p223c29

- 1 莊嚴其名曰阿斯仙童子那羅提婆⁷。表苦⁸波
- 2 耶那那荼延那迦摩延那商枳囉娑鞞軻那
- 3 娑徒囉陀等諸大仙人相隨經行
- 4 即於爾時毘邪⁹娑仙亦見世尊与諸比丘多
- 5 千眷属之所圍遶諸根調柔心意寂靜在於

1 〔元魏婆羅門瞿曇般若流支譯〕 + 【大】
 2 跏¹加【大】
 3 住²法【大】 大正蔵に校注なし。
 4 隣³憐【大】
 5 脩⁴修【大】 大正蔵に校注なし。
 6 婆⁵娑【大】
 7 苦⁶若【大】
 8 邪⁷耶【大】 大正蔵に校注なし。

- 6 禪定離欲安樂在樹林中毘邪婆仙既見仏
- 7 已思惟念言此人応是一切智者名稱普聞
- 8 彼必応是不妄語人如是如来勝色具足諸
- 9 相成就甚為希有世未曾有如是色相勝彼。
- 10 希有如是世尊捨王欲樂捨轉輪王富樂自
- 11 在如捨毒食六万嫫女第一端正一切捨已
- 12 而便出家在林中住仙人衆中有一仙人名
- 13 那羅陀既見世尊心生歡喜以妙伽他讚如
- 14 来曰
- 15 青色樹林中 誰光洋金色 如淨毘瑠璃 如日出雲山
- 16 時彼大仙及諸仙衆聞是説已心喜開眼皆
- 17 悉合掌欲向仏所
- 18 爾時仏語諸比丘言汝等比丘見閻浮提如
- 19 是諸仙繫縛手足自懸着樹不食而齊着樹
- 20 皮衣臥在塵土若在石上有以兩手合取食
- 21 已開手而食或有食風有十五日不食而齊
- 22 或有一月不食而齊頭鬚髮爪悉皆長利晨
- 23 且中暮三時誦誦有種姓財有福徳財先呪
- 24 物已置於火中而供養火在地而臥有在露

(第11紙) T12p224a25~

- 1 地有在樹下有懸自手着樹而睡或有蹲踞
- 2 如是睡者或有在水如是睡者有以五熱而
- 3 炙身者有身逼火自名炙臥者有在火焰下
- 4 風臥者有臥棘刺有日炙身受苦求福自誑
- 5 其身得処便住種姓勝上心以為足心以為
- 6 喜離无上智諸比丘此大仙人而不能知生
- 7 死出要以欲癡故還生有中自謂正行不知
- 8 是耶爾時彼諸比丘帰命如来白言世尊我

9 彼ニ妙【大】

10 瑠ニ琉【大】 大正蔵に校注なし。

11 齊ニ齋【大】 大正蔵の校注には「齋ニ齊一〔聖〕*」とある。

12 齊ニ齋【大】

13 齊ニ齋【大】

14 晨ニ寅【大】

15 〔名〕一【大】

16 火ニ大【大】 大正蔵に校注なし。

17 无ニ無【大】 大正蔵に校注なし。

18 耶ニ邪【大】 大正蔵に校注なし。

- 9 梵行真正具足和集相応得離生有
- 10 彼毘邪婆大仙人等以阿羅漢威德力故而
- 11 生長懼安²⁰諦視心意敬重一心正意与諸
- 12 仙人眷属相隨絞撰長髮并在一箱以如²¹線²¹
- 13 繩角絡其体形色不白端撰身儀二眼皆黃
- 14 頭髮²²无²²賦絞結相着塊聚非一手執²³杖²³置
- 15 瓶之物世中最醜種種語言悉皆善巧因成
- 16 就語躡空而行到如来所自言世尊応知此
- 17 義我何因縁并諸眷属今来到此仏言大仙
- 18 一切有生一切諸法我悉知之
- 19 爾時慧命阿難陀白仏言世尊如是大仙仙
- 20 衆圍遶心有正知有種種知細知盡知知而
- 21 不畏長髮不理為是何人仏言阿難此是仙
- 22 人名毘邪婆婆羅門法是其所作造四毘陀
- 23 善知声論知種種書時彼一切²⁴羅漢人見毘
- 24 耶婆大仙人已作是思惟彼人受苦勤勞持

(第四紙) T12p224b20~

- 1 戒為何所得此毘邪婆生死苦惱未得解脫
- 2 彼阿羅漢如是思惟此毘邪婆来至仏所云
- 3 何問難為問因縁為問²⁵无²⁵我時毘邪婆問世
- 4 尊言仏出世難今諸仙衆和合来此我少難
- 5 問唯願²⁶且²⁶住為我解説仏言大仙恣汝所問
- 6 隨汝所念皆悉可問我為汝説
- 7 時毘邪婆問言世尊云何布施何故布施何
- 8 義名施云何施主何義施主云何施人而非
- 9 施主云何不与得名施主云何死已施福隨
- 10 行施福云何為有形段聚集可見為不可見
- 11 施主施福為在何処為在受者為在施者云
- 12 何世尊入涅槃已供養塔等而得福報仏入

¹⁹ 【等】 + 【大】

²⁰ 摩²⁰詳【大】

²¹ 如線²¹好縫【大】 大正蔵の校注の内容(好縫²¹好縫(聖)が正確ではない。

²² 无²²無【大】 大正蔵に校注なし。

²³ 【奇】 + 【大】

²⁴ 【阿】 + 【大】

²⁵ 无²⁵無【大】 大正蔵に校注なし。

²⁶ 且²⁶且【大】 大正蔵に校注なし。

- 13 涅槃誰為受者爾時世尊語毘邪¹³娑大仙人
- 14 言汝問此法甚為微細汝有辨¹⁴才不可思議
- 15 能如是問
- 16 爾時長老舍利弗髮白面皺眉垂覆面偏拳
- 17 一眉長引氣息諦觀思量見已而言此毘邪¹⁷
- 18 娑大仙人主有大名聞一切人知一切人說
- 19 豈可不知同如世間愚癡小兒无¹⁹智慧者捨
- 20 諸²⁰因緣捨說无²⁰我二²⁰種深法種種善如智言
- 21 語已而問如是布施之法
- 22 爾時慧命阿難陀頂礼仏足白言世尊此毘
- 23 邪²³娑大仙所問布施果報我亦能說仏言阿
- 24 難此則非時若問如來声聞人說此則非²⁴儀

(第五紙) T12p224c14~

- 1 且³⁶止阿難无³⁷此道理
- 2 爾時慧命舍利弗白仏言世尊随彼仙人何
- 3 意而問我亦能說能滿其意仏告³⁸舍利弗汝
- 4 語太卒心不思量長老舍利弗勿作是語此
- 5 不相応若如是者我声聞人則不相応若來
- 6 問我声聞說者此不相応則有人言彼如來
- 7 者非一切智当有人言毘邪³⁹娑仙往問如來
- 8 自不能說遣声聞說或有人言彼如來者有
- 9 我慢見而不自說爾時彼諸比丘於世尊所
- 10 生信淨心白言世尊彼大仙問如來能說能
- 11 断彼疑
- 12 爾時世尊語毘邪⁴⁰娑大仙人言汝聽施報復

27 邪²⁷耶【大】 大正蔵に校注なし。

28 辨²⁸辯【大】 大正蔵に校注なし。

29 邪²⁹耶【大】 大正蔵に校注なし。

30 无³⁰無【大】 大正蔵に校注なし。

31 諸³¹說【大】 大正蔵に校注なし。

32 无³²無【大】 大正蔵に校注なし。

33 二³³種【大】 大正蔵に校注なし。

34 邪³⁴耶【大】 大正蔵に校注なし。

35 則非³⁵非所【大】 大正蔵に校注なし。

36 且³⁶且【大】 大正蔵に校注なし。

37 无³⁷無【大】 大正蔵に校注なし。

38 告³⁸言【大】 大正蔵に校注なし。

39 邪³⁹耶【大】 大正蔵に校注なし。

40 邪⁴⁰耶【大】 大正蔵に校注なし。

- 13 有施分何義布施既布施已自食自淨施已
- 14 報轉故名布施以何義故名為施主如是問
- 15 者大仙當聽若人有物彼信心生信心生已
- 16 以財付人遣向他国彼人將物向他国施彼
- 17 人布施財主得福非施者福彼所遣者雖持
- 18 物施而非捨主若人自物自手施者則是捨
- 19 主亦是施主大仙當知有卅二卅二不淨布施何
- 20 等名為卅二卅二邪卅二一者有人邪心倒見无卅二淨信
- 21 心而捨財物如是施者非淨布施二者有人
- 22 為報恩故而捨財物則非布施三者有人无卅二悲
- 23 愍心而捨財物亦非布施四者有人因欲心
- 24 故而捨財物亦非布施五者有人捨物与

(第六紙) T12p225a09~

- 1 火亦非布施六者有人捨物与水亦非布施
- 2 七者有人生如是心捨物与王望王識念如
- 3 是捨物非淨布施八者有人以畏賊故捨物
- 4 与之如是施者亦非淨施又復更有五種捨
- 5 物皆非淨施何等為五一者施毒非淨布施
- 6 二者施刀非淨布施三者殺卅二人取肉而施非
- 7 淨布施四者有人所撰衆生平等施与和集
- 8 養育望得其力非淨布施五者有人為名
- 9 聞故而捨財物非淨布施十四有人為歌戲故
- 10 与伎兒物非淨布施十五有人年終月盡破
- 11 散財物非淨布施十六有人屋舍因緣而捨
- 12 財物則非布施十七有人善友因緣以他財
- 13 物受与余人非淨布施十八有人或在卅二田地
- 14 或在舍宅或有穀聚或有麥聚鹿鳥所食鼠
- 15 等所食无卅二清淨心非淨布施十九有人為学
- 16 作故与工卅二近卅二物如是施者非淨布施卅二有人

^{卅二}卅二卅二三十三【大】 大正藏の校注には「三十三卅二三十二卅二」卅二とある。
^{卅二}卅二卅二三十三【大】
^{卅二}邪卅二耶【大】 大正藏に校注なし。
^{卅二}无卅二無【大】 大正藏に校注なし。
^{卅二}无卅二無【大】 大正藏に校注なし。
^{卅二}殺卅二教【大】 大正藏に校注なし。
^{卅二}在卅二有【大】
^{卅二}无卅二無【大】 大正藏に校注なし。

- 17 身有病患恐命盡故捨物与医非淨布施⁵¹
- 18 一者若人打他若寫⁵²他已心悔生愧捨物与
之非淨布施⁵³二者若人施已心則生疑為
- 19 有報不如是施者非淨布施⁵⁴三者若人施
已心中悔熱如是施者非淨布施⁵⁵四者若
- 20 人捨物与他人已如是思量若其有人取我
- 21 物者皆悉属我為我所秉如是施者非淨布
- 22 施⁵⁶五者若人施已如是思量如是施福唯

(第七紙) T12p225b05~

- 1 属⁵⁷我身不属他人如是施者非淨布施⁵⁸六
- 2 者若人年老捨物而施又非中年後時病困
- 3 死時欲至脈節欲断苦惱所逼欲入死道无⁵⁹
- 4 清淨心无⁶⁰信淨心閻魔羅使見之生咲⁶¹兄弟
- 5 諸親啼哭悲泣至如是時捨物而与非淨布
- 6 施⁶²七者若人為名捨物布施如是我名他
- 7 国遍聞某国某城大施之主彼如是施非淨
- 8 布施⁶³八者若与余人迭相憎嫉見彼捨物
- 9 多行布施見已心慢不能堪忍以嫉彼故捨
- 10 物布施非淨布施⁶⁴九者貪⁶⁵他女故為種姓
- 11 故捨珠捨金若銀金剛若毘瑠⁶⁶璃繪絹衣裳
- 12 及兜羅綿造作敷具如是捨物非淨布施⁶⁷
- 13 者有人如是思惟捨物与人我无⁶⁸兒息大富

49 近⁵⁷匠【大】 大正藏に校注なし。
 50 卅⁵⁸二十【大】 大正藏に校注なし。
 51 卅⁵⁹二十【大】 大正藏に校注なし。
 52 寫⁶⁰罵【大】 大正藏に校注なし。「寫」の右傍に「罵」あり。
 53 卅⁶¹二十【大】 大正藏に校注なし。
 54 卅⁶²二十【大】 大正藏に校注なし。
 55 卅⁶³二十【大】 大正藏に校注なし。
 56 卅⁶⁴二十【大】 大正藏に校注なし。
 57 属⁶⁵鍾【大】 大正藏に校注なし。
 58 卅⁶⁶二十【大】 大正藏に校注なし。
 59 无⁶⁷無【大】 大正藏に校注なし。
 60 无⁶⁸無【大】 大正藏に校注なし。
 61 咲⁶⁹笑【大】 大正藏に校注なし。
 62 卅⁷⁰二十【大】 大正藏に校注なし。
 63 卅⁷¹二十【大】 大正藏に校注なし。
 64 卅⁷²二十【大】 大正藏に校注なし。
 65 貪⁷³食【大】 大正藏に校注なし。
 66 瑠⁷⁴琉【大】 大正藏に校注なし。
 67 卅⁷⁵三十【大】 大正藏に校注なし。

- 14 饒財应当捨物而行布施如是施者非淨布
- 15 施卅⁸⁸ 一者若復有人心生簡擇如是念言若
- 16 与此人則有福德若与彼人則无⁷⁰ 福德如是
- 17 施者非淨布施卅⁸² 二者若人布施捨離貧窮
- 18 衣裳破壞垢膩之者与多豐樂大富之人非
- 19 淨布施卅⁷² 二者若復有人望好華菓⁸³ 捨物而
- 20 与非淨布施大仙当知此卅⁷⁴ 二垢染布施而
- 21 捨財物彼施報者如以種子種之鹹地爛壞
- 22 不成大仙当知如是之人非不布施不得果
- 23 報復次大仙譬如有人随何所取得種子已
- 24 種之荒田彼種子界地界相依須得天雨種

(第八紙) T12p225c01~

- 1 子變壞雖有牙生不得華菓⁷⁵ 此布施分不得
- 2 華菓⁷⁶ 亦復如是
- 3 如是説已毘邪⁷¹ 娑仙合掌向仏而作是言如
- 4 來世尊一切智人以相応語説布施報已作
- 5 利益安樂衆生又復世尊云何布施不失果
- 6 報有人持戒有不持戒二俱施与此義云何
- 7 仏言大仙汝今善聽布施報法若有信心一
- 8 切施与故名布施不畏未來而行布施不輕
- 9 毀他行布施者乃名布施大仙当知若復有
- 10 人不簡福田若有戒人若无⁸² 戒人心信眼開⁷⁸
- 11 生愛念已捨物施与心常普縁一切衆生大
- 12 仙当知彼人施主大仙当知有五種施施主
- 13 滿足何等為五一者時施二施行人三施病
- 14 人及瞻病者四施法器五施欲行異国土者

88 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 89 卅||三十【大】 大正蔵に校注なし。
 90 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 91 卅||三十【大】 大正蔵に校注なし。
 92 卅||三十【大】 大正蔵に校注なし。
 93 華菓||花果【大】 大正蔵に校注なし。
 94 卅||三十【大】 大正蔵に校注なし。
 95 華菓||花果【大】 大正蔵に校注なし。
 96 華菓||花果【大】 大正蔵に校注なし。
 97 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
 98 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 99 眼開||開眼【大】

- 15 是為五種復有五施何等為五一者法施二
- 16 資生施三屋宅施四燈明施五香鬘施是為
- 17 五種
- 18 大仙問言何者淨施仙言大仙若人有信樂⁸⁰
- 19 於衆生而生慈心常心喜心捨物布施彼一
- 20 切淨若願解脫如是布施則為清淨復有五
- 21 種无⁸¹上布施何等為五一施如來則為无⁸²上
- 22 二施衆僧則為无⁸³上三施法器則為无⁸⁴上四
- 23 施父母則為无⁸⁵上五施王者失位貧窮則為
- 24 无⁸⁶上如是施者是上布施若施老人孤独病

(第九紙) T12p225c25~

- 1 急是大布施若為王瞋一向捨棄繫縛欲殺
- 2 若諸急難為救彼故不顧自命為捨財物是
- 3 大布施施病人藥是大布施若於持戒具足
- 4 衆僧隨時施与是大布施施求智人是大布
- 5 施若施畜生有怖畏者所謂薰胡⁸⁷鳥鹿等畜
- 6 是大布施若人貧急施隨所須是大布施大
- 7 仙当知此為大施常心正脩⁸⁸若復有人為他
- 8 所遣持物布施即有淨心同得施福若復有
- 9 人見他布施心生隨喜亦得施福若人勸施
- 10 若人施物如是等人皆得大福
- 11 復次大仙如汝問言云何世尊入涅槃已供
- 12 養塔等得福報者大仙当聽若人於我入
- 13 涅槃已当設供養若復有人我未涅槃今現
- 14 在世供養我者所得福報此二平等何以故
- 15 法身如來非是色身若人於今現在供養若
- 16 我滅後而為供養心平等故得福无⁸⁹異
- 17 大仙当知如轉輪王遍勅諸国一切人民從

⁸⁰ 樂||縁【大】

⁸¹ 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

⁸² 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

⁸³ 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

⁸⁴ 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

⁸⁵ 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

⁸⁶ 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

⁸⁷ 薰胡||訓狐【大】

⁸⁸ 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。

⁸⁹ 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

18 今日始勿復殺生莫作妄語彼有一人聞王
 19 勅已雖不見王善護王勅如是之人雖不供
 20 養輒輸王身王於彼人心生歡喜如是之人
 21 善護王勅以不殺生善業因緣報生天處大
 22 仙當知若人不見我身色相不學戒句為何
 23 所得若人見我而心邪見如提婆達入地獄
 24 故若人於我入涅槃已善學戒者彼勝忖知

(第十紙) T12p226a19~

1 大仙當知今我色勝證一切智⁹⁰信衆生能
 2 令學戒況有信者若人於我入涅槃已而為
 3 供養與現供養等⁹¹有異大仙當聽如汝所
 4 問布施福德為在何處如是問者譬如葦草
 5 藜⁹²稠⁹³概於中火起若雨墮時即沒彼處如
 6 是如是隨何施主布施具足福德和合信雨
 7 既墮如是福德即依施主不余處去大仙當
 8 知如是施福非有聚處非有形相
 9 如是施已施者身亡施福不離如影隨形是
 10 名施者得福報果福不失譬如甘蔗若蒲
 11 桃子如其不壓不得其汁壓之則得非甘蔗
 12 中蒲桃子中現前和集有汁可見非在節中
 13 亦非⁹⁴汁如是如是布施財物如是施報於
 14 彼施主非住手中非住心中非住腹中而是
 15 施報不離施主猶如彼汁不離甘蔗若蒲桃
 16 子如是施報不離施主未熟不受命行不盡
 17 不得施報譬如樹王尼拘陀子其子微細種
 18 之在地則不可見至樹生時方乃可見施主
 19 施福亦復如是和合熟時乃得果報譬如商
 20 人所齎至少入於大城彼城功德少物治生
 21 所獲乃多具足而得施亦如是施時雖微得
 22 福報大又如蜜蜂採取⁹⁵華⁹⁶味而不損⁹⁷華⁹⁸施主

⁹⁰ 无||無【大】 大正藏に校注なし。

⁹¹ 无||無【大】 大正藏に校注なし。

⁹² 藜蜜||叢密【大】 大正藏に校注なし。

⁹³ 无||無【大】 大正藏に校注なし。

⁹⁴ 華||花【大】 大正藏に校注なし。

⁹⁵ 華||花【大】 大正藏に校注なし。

23 如是随何布施得果報力則是施主如是大
 24 仙施主布施福德勢力言施主者以自施故

(第十一紙) T12p226b15~

- 1 得名為施
- 2 云何受者受他所施能消他物故名受者又
- 3 問云何為施福者於世間中能救能護能令
- 4 滿足得人天身故名福德言他世者次第伝
- 5 生至後世身故名他世
- 6 爾時毘邪⁹⁶娑仙白仏言世尊我離疑心決定
- 7 施分復更有疑世尊此識云何於身中転識
- 8 云何見云何於身而生貪樂
- 9 仏言大仙譬如國王住於城内怖畏他軍先
- 10 作坑塹周⁹⁷市⁹⁷遶城備具⁹⁸糧⁹⁸食弓箭刀楯種種
- 11 器仗多集勇健能鬪戰者立健人懂亦多聚
- 12 集年少健人給以食⁹⁹糧⁹⁹勅諸酒肆多¹⁰⁰辨¹⁰⁰好酒
- 13 撰出家人布施供養以好財物撰受諸人既
- 14 如是已唱声勅言安住勿動¹⁰¹若¹⁰¹嚴器仗手執
- 15 弓箭身著鎧¹⁰²甲¹⁰²拔刀警防如是誠已他軍來
- 16 至多有象馬是時國王安慰軍衆作如是言
- 17 盡力勿畏城壁若有不牢之处当好防護日
- 18 日常爾如是乃至福德盡已為他軍衆之所
- 19 破壞俄爾敗散捨國而去識亦如是住身城
- 20 中諸入中王見¹⁰³无¹⁰³常軍欲至生畏即時造作
- 21 信心坑塹治界嶮岸着憶念鎧發勤精進法
- 22 藏為酒善調心馬彼時如是勅誠諸¹⁰⁴人¹⁰⁴作所
- 23 応作若有大力有¹⁰⁵无¹⁰⁵量力¹⁰⁵无¹⁰⁶常軍衆來逼身
- 24 城速着施¹⁰⁶甲¹⁰⁶速取智刀慚愧機関安置相応

96 邪⁹⁶耶【大】 大正蔵に校注なし。
 97 市⁹⁷【大】 大正蔵に校注なし。
 98 糧⁹⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 99 糧⁹⁹【大】 大正蔵に校注なし。
 100 辨¹⁰⁰【大】 大正蔵に校注なし。
 101 若¹⁰¹各【大】 大正蔵に校注なし。
 102 甲¹⁰²鉀【大】 大正蔵の校注には「鉀¹⁰²甲¹⁰²〔聖〕*」とある。
 103 无¹⁰³無【大】 大正蔵に校注なし。
 104 人¹⁰⁴入【大】 大正蔵に校注なし。
 105 无¹⁰⁵無【大】 大正蔵に校注なし。
 106 无¹⁰⁶無【大】 大正蔵に校注なし。

(第十一紙) T12p226c10~

- 1 護持実戒如是正住彼¹⁰⁸无¹⁰⁸常軍勝識則捨去如城
- 2 時共鬪迭互相違¹⁰⁹无¹⁰⁹常軍勝識則捨去如城
- 3 中王捨城而去識亦如是和合身中根大界
- 4 中既破壞已六入失已捨彼身城如壞城王
- 5 捨城而走彼王如是既捨城已依止余城識
- 6 亦如是捨此身已撰取余身¹¹⁰知此識如王
- 7 无¹¹⁰異
- 8 爾時毘邪¹¹¹婆仙白¹¹²言世尊如是識者云何
- 9 知身若有福德若¹¹³无¹¹³福德此識云何作如是
- 10 知我捨此身¹¹⁴言大仙譬如行人路遇大水
- 11 其水¹¹⁵汎長¹¹⁵為渡彼水故上大棧彼水既¹¹⁶盛飛¹¹⁴
- 12 波乱動而復甚濁多饒惡虫謂那迦羅舒舒
- 13 摩羅水蛇惡鼃有大惡風乱吹旋轉¹¹⁷依¹¹⁷彼棧
- 14 故得到彼岸平安不乏如是之人於彼惡水
- 15 大畏惡処既得脱已¹¹⁸遠棧¹¹⁸三¹¹⁸市¹¹⁸於彼木棧¹¹⁹轉
- 16 生愛心愛心生已如是思惟善哉此棧能令
- 17 我渡如是大水
- 18 如是大仙又復更有福德衆生身既死已識
- 19 如是念由我此身得生善道天中而生我於
- 20 人身得利不空我此死身猶如牢棧能令我
- 21 度惡道大水我身大善合¹²⁰応供養如是之身
- 22 不誑於我生死過中与我天¹²¹処如是念已即
- 23 於彼身生愛念心彼身如棧捨彼身已去向
- 24 他世

(第十一紙) T12p227a05~

- 1 若復有人身¹²²无¹²²福德彼人心識譬如有人身

107 甲=鉀【大】
 108 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 109 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 110 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 111 邪=耶【大】 大正蔵に校注なし。
 112 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 113 汎長=汎漲【大】 「汎」の右傍に「汎」あり。大正蔵の校注には「汎漲=汎長〈聖〉*」とある。
 114 盛飛=長奮【大】
 115 依=以【大】 大正蔵に校注なし。
 116 市=匝【大】 大正蔵に校注なし。

- 2 上爛椳渡於大水然彼椳木或出或没彼身¹²⁸
 3 怖畏心生疑慮我於今者將死不久如是之
 4 人依彼爛椳甚大怖畏隨流下脱¹²⁹至饒師子
 5 虎等惡¹³⁰獸大怖畏処然後得渡彼人如是既
 6 得渡已於彼爛椳生瞋怒心罵彼爛椳作如
 7 是言顛倒惡¹³¹行此水汎長¹³²多波濁惡云何如
 8 是令我遂到如是惡処我於爛椳竟得何力
 9 用此椳為即便棄捨如是如是衆生心識依
 10 无¹³³福身隨流下退墮於地獄呵責此身作如
 11 是言我得何力我已報得如是惡身如是身
 12 者猶如羶¹³⁴那我負此身如負羯那我今甚惡
 13 因此身爛¹³⁵到地獄門猶如蓮華¹³⁶自絲所縛大
 14 仙当知識亦如是若善福德如依椳善¹³⁷得渡
 15 生死若无¹³⁸福德如依爛椳則隨惡道彼二種
 16 身一有福德一无¹³⁹福德応如是知
 17 又復此識轉捨此身得第三¹⁴⁰身初在胎藏一
 18 七日中如是憶知我某処退而來至此亦能
 19 憶知前所作業我作此業若作善業心則生
 20 喜既住藏中母心喜咲¹⁴¹多有勝相顔有咲¹⁴²容
 21 酖醜¹⁴³不生面有勝色隨所行動多用右足蹈
 22 地審¹⁴⁴重无¹⁴⁵有因縁手摩右脇憲鮮白衣着則
 23 嚴好衆生如有福德識住母脇中如是相
 24 現

117 无¹³³無【大】 大正蔵に校注なし。

118 身¹³⁴人【大】

119 脱¹²⁹退【大】

120 「悪？」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「悪」（朱書）あり。

121 「悪？」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「悪」（朱書）あり。

122 長¹³²漲【大】

123 无¹³³無【大】 大正蔵に校注なし。

124 羶¹³⁴羯【大】 大正蔵の校注には「羯那¹³⁴羶那（聖）下同」とある。

125 身爛¹³⁵爛身【大】

126 華¹³⁶花【大】 大正蔵に校注なし。

127 椳善¹³⁷善椳【大】

128 无¹³³無【大】 大正蔵に校注なし。

129 无¹³³無【大】 大正蔵に校注なし。

130 三¹³⁸二【大】

131 咲¹⁴¹笑【大】 大正蔵に校注なし。

132 咲¹⁴²笑【大】 大正蔵に校注なし。

133 酖醜¹⁴³奸醜【大】

134 審¹⁴⁴壓【大】

135 无¹³³無【大】 大正蔵に校注なし。

(第十四紙) T12p227b01~

- 1 大仙当知若¹³⁶无¹³⁶ 福識初受生時一七日中則
- 2 能憶知我某处退而来生此亦能憶知前所
- 3 作業如是念云¹³⁷我¹³⁷ 作惡業如是憶念心則愁
- 4 憂以心憂故母相外現彼¹³⁸无¹³⁸ 福德¹³⁹无¹³⁹ 善衆生
- 5 住母脇中有外相出身体臭惡而復瘦瘠心
- 6 愁憂惱数唾不止皺面怒眼如是衆生初在
- 7 脇中即令彼家衰禍得病如是惡業¹⁴⁰无¹⁴⁰ 福衆
- 8 生欲出胎時或能殺母或藏中死¹⁴¹无¹⁴¹ 福衆生
- 9 有如是相
- 10 爾時毘¹⁴²邪¹⁴² 娑仙白仏言世尊此初識心始入
- 11 胎時何所憶念何所見知仏言大仙彼識初
- 12 生如是憶念見樹林中戲樂之处宮殿樓觀
- 13 池¹⁴³ 水屈曲平澤寬博種種屋舍此閻浮提多
- 14 有愛人父母兄弟如是見已極生愛心福德
- 15 和集迭相撰受有施物者有受物者能知過
- 16 去宿世之事憶念過去¹⁴⁴无¹⁴⁴ 量百生¹⁴⁵无¹⁴⁵ 量千生
- 17 彼識如是数数憶念既憶念已心生愛喜能
- 18 如是知我此母者過去已曾五百世中与我
- 19 為母彼既如是心憶念已於彼生处不生願
- 20 樂心得離欲作如是心我於此处数数生死
- 21 我於今始不用生死不用有撰
- 22 如是説已毘¹⁴⁶邪¹⁴⁶ 娑仙問言世尊如是識者於
- 23 生死中得離欲¹⁴⁷邪¹⁴⁷ 仏言大仙此則非時此則
- 24 非处彼時彼識¹⁴⁸无¹⁴⁸ 色不見¹⁴⁹无¹⁴⁹ 有光明如是識

- 136 无¹³⁶ 无¹³⁶ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 137 我¹³⁷ 何¹³⁷ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 138 无¹³⁸ 无¹³⁸ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 139 无¹³⁹ 无¹³⁹ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 140 无¹⁴⁰ 无¹⁴⁰ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 141 无¹⁴¹ 无¹⁴¹ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 142 邪¹⁴² 耶¹⁴² 【大】 大正蔵に校注なし。
- 143 池¹⁴³ 地¹⁴³ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 144 无¹⁴⁴ 无¹⁴⁴ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 145 无¹⁴⁵ 无¹⁴⁵ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 146 邪¹⁴⁶ 耶¹⁴⁶ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 147 邪¹⁴⁷ 耶¹⁴⁷ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 148 无¹⁴⁸ 无¹⁴⁸ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 149 无¹⁴⁹ 无¹⁴⁹ 【大】 大正蔵に校注なし。

(第十五紙) T12p227b25~

- 1 界非於此処而得離欲於有為中非是不生
- 2 若如是者一切衆生有福徳者¹¹⁶福徳者皆
- 3 得涅槃彼義如是大仙応知若彼識心如是
- 4 思念彼識則有如是勝力応知是知非是身
- 5 力所言識者何故名識集故識思知故名智
- 6 故名識識義如是大仙応知爾時世尊即
- 7 説偈言
- 8 説¹²¹一切怨家 聚集作煩惱 有知有不知 癡慧和合行
- 9 見慢¹²³明等 一切皆識知 此三不離識 非余処別有
- 10 双相應説識 一輪非是車 二輪不能行 有人復有牛
- 11 車輻輳和合 是二輪相応 復以繩繫縛 如是為行車
- 12 如是身之車 彼以界和合 復有根和合 識見彼身車
- 13 脈節等和合 喉脈根繫縛 髮骨齒頭等 甲皮之所覆
- 14 脇及腸処胃 并心肚与肺 彼一切和合 具足故名身
- 15 識王身為車 身車中行坐 一切法皆知 如是名為識
- 16 復次大仙此識微細¹¹⁶³色¹¹⁶⁴无¹¹⁶⁵質非是可見識
- 17 非有色非青等色色中¹¹⁶⁶无¹¹⁶⁷根識若離根則¹¹⁶⁸无¹¹⁶⁹
- 18 境界若人心中驚動怖畏若疑思量如是一
- 19 切皆是識力
- 20 爾時毘邪¹²⁴娑仙白仏言世尊一切衆生本性
- 21 云何云何生天道云何生鬼道云何生畜生
- 22 云何生地獄云何生善根何者善根而生天
- 23 中以何業故生畜生中以何業故生餓鬼中
- 24 以何業故生地獄中

(第十六紙) T12p227c28~

- 1 仏言大仙汝当善聽我為汝説凡夫衆生退
- 2 於本性若生福徳此法乃是一切智知非五

¹⁵⁰ 无¹⁵¹ 无¹⁵² 无¹⁵³ 无¹⁵⁴ 无¹⁵⁵ 无¹⁵⁶ 邪¹⁵⁷ 耶¹⁵⁸ 【大】
 大正蔵に校注なし。
 説¹⁵¹ 護¹⁵² 【大】
 大正蔵に校注なし。
 无¹⁵² 无¹⁵³ 【大】
 大正蔵に校注なし。
 无¹⁵³ 无¹⁵⁴ 【大】
 大正蔵に校注なし。
 无¹⁵⁴ 无¹⁵⁵ 【大】
 大正蔵に校注なし。
 无¹⁵⁵ 无¹⁵⁶ 【大】
 大正蔵に校注なし。
 无¹⁵⁶ 无¹⁵⁷ 【大】
 大正蔵に校注なし。
 邪¹⁵⁷ 耶¹⁵⁸ 【大】
 大正蔵に校注なし。

- 3 通者所知境界非天非梵阿迦尼等之所能
- 4 知是一切智所知境界此法尚非声聞所知
- 5 況余能知大仙当知若我弟子声聞之人已
- 6 離三垢證得初果所知境界諸余大夫¹⁵⁸天中
- 7 天等一切不知非汝大仙之所能知乃至不
- 8 知¹⁵⁹知其少分
- 9 如是説已毘邪¹⁶⁰婆仙心即思惟如是念曰生
- 10 死誑我如是念已礼如来足白言世尊我今
- 11 老弊破壞之身无¹⁶¹有憶念不能得果不能荷
- 12 負菩提重擔我於今者歸依世尊歸依於法
- 13 離三有僧我從今日乃至命盡受三歸依并
- 14 弟子衆一切如是唯願世尊善為我説令我
- 15 眷属大獲善利世尊乃是一切智日除煩惱
- 16 闇唯願世尊説此本性衆生本性退生天中
- 17 仏言大仙今正是時我為汝説大仙当知若
- 18 人以華¹⁶²香鬘而施心樂脩¹⁶³行信心相応命終得
- 19 生鬘莊嚴天又復大仙人欲死時身有善
- 20 香是華薰¹⁶⁴香又欲死時上見華¹⁶⁵網有種種
- 21 色以散彼人爾時諸親父母兄弟諸眷属等手
- 22 執華香而供養之悲号啼哭彼人爾時面色
- 23 膩潤目視不転手足正直如是捨命彼欲死
- 24 時見有勝相所謂見丘見鬘莊嚴見有百千

(第十七紙) T12p228a23~

- 1 端正婦女遶天宮殿彼人見已而語兄弟諸
- 2 親等言我於夢中見有丘聚種種宝珠諸莊
- 3 嚴具散種種華¹⁶⁶若彼病人如是説者忖知此
- 4 相命終得生鬘莊嚴天彼人欲死則見父母
- 5 房室和合見已即生又復彼時鬘莊嚴天有

¹⁵⁸ 夫 || 天 【大】

¹⁵⁹ 知 || 能 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶⁰ 邪 || 耶 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶¹ 无 || 無 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶² 華 || 花 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶³ 脩 || 修 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶⁴ 華薰 || 花熏 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶⁵ 華 || 花 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶⁶ 華 || 花 【大】 大正蔵に校注なし。

- 6 二種根和合行欲如閻浮提男子不異有一
- 7 勝法不淨不出彼心欲發迭相知已身則和
- 8 合有愛風出而受欲樂即於彼時經七日中
- 9 住天女藏七日滿已右脇而生即於生時有
- 10 天善香第一可愛有種種華¹⁰⁷相繫為鬢生在
- 11 匏¹⁰⁸前彼時復有妙香普薰¹⁰⁹滿一由旬隨風遍
- 12 行彼時復有雜色鬢生所謂白色黑黃赤色
- 13 毘瑠璃¹¹⁰色閻浮汁色清淨勝妙鉢頭摩色種
- 14 種雜色銅色火色如是妙鬢乃至未死不萎
- 15 不薦¹¹¹常有善香以是義故名鬢莊嚴彼鬢莊
- 16 嚴天宮之處有妙天樹不長不短其汁極甜
- 17 味甘甘露其枝垂下而復清淨種種樹林処
- 18 処和集彼樹有菓¹¹²八分和合天味相応彼菓¹¹³
- 19 形量如頻驪菓¹¹⁴隨彼天心憶念何食於彼菓¹¹⁵
- 20 中隨念皆得応知彼天食如是菓¹¹⁶不名揣食
- 21 於彼地処遠離棘刺妙華¹¹⁷莊嚴復有地処有
- 22 青奕¹¹⁸草復有地処金沙遍覆金角上出復有
- 23 臥処自然而有種種敷具復有天女清淨无¹¹⁹
- 24 垢妙衣莊嚴偏举一眉而作戲咲¹²⁰種種衣服

(第十八紙) T12p228b18~

- 1 莊嚴其身又於彼処第一勝樂行住具足於
- 2 彼天年寿二百歲命欲盡時則有五相何等
- 3 為五一謂彼天所依之樹枝心萎薦¹²¹頭低卷
- 4 屈其華¹²²失香二於彼樹心不喜樂三則鬢萎

- 167 華¹²³花【大】 大正蔵に校注なし。
- 168 匏¹²⁴胸【大】 大正蔵に校注なし。
- 169 薰¹²⁵熏【大】 大正蔵に校注なし。
- 170 瑠¹²⁶琉【大】 大正蔵に校注なし。
- 171 薦¹²⁷薦【大】 大正蔵に校注なし。「薦」の右傍に「薦」あり。
- 172 菓¹²⁸果【大】 大正蔵に校注なし。
- 173 菓¹²⁹果【大】 大正蔵に校注なし。
- 174 菓¹³⁰果【大】 大正蔵に校注なし。
- 175 菓¹³¹果【大】 大正蔵に校注なし。
- 176 菓¹³²果【大】 大正蔵に校注なし。
- 177 華¹³³花【大】 大正蔵に校注なし。
- 178 奕¹³⁴軟【大】 大正蔵に校注なし。
- 179 无¹³⁵無【大】 大正蔵に校注なし。
- 180 咲¹³⁶笑【大】 大正蔵に校注なし。
- 181 「薦」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「薦」(朱書)あり。
- 182 華¹³⁷花【大】 大正蔵に校注なし。

- 5 四天風涼變為熱觸五諸天女心生憐愍皆
- 6 悉憂愁一切同声而說偈言
- 7 具足天甘菓¹⁸³ 饒種種天樹 多有天姝女 天勝妙樂処
- 8 天中福德盡 捨已而離去
- 9 彼諸天女圍遶天子發声大喚唱如是言无¹⁸⁴
- 10 常甚惡无¹⁸⁵ 憐愍意如天子有愛念心令¹⁸⁶不
- 11 自在於此処退転¹⁸⁷ 天童子速生人中如是天
- 12 女懊惱説已彼天子身举体熱發既熱發已
- 13 身則普然火起一焰即退彼処身雖焰然不
- 14 受苦惱既退彼已則見人中父母和合如是
- 15 見已即便受生大仙当知彼鬘莊嚴天子生
- 16 時云何処胎彼住母脇則有勝相若住藏中
- 17 母則愛香熹樂華¹⁸⁸ 鬘樂種種菓¹⁸⁹ 青林菓¹⁹⁰ 樹受
- 18 用心適彼一切樂皆悉具足身不疲倦又彼福
- 19 子住藏中故復有善相或夢見城種種宝物
- 20 市易之処種種華鬘以散道巷応知彼母
- 21 有如是相
- 22 復次大仙如是童子於鬘莊嚴天中退已既
- 23 生人中若見鬘者生勝受¹⁹¹ 心樂鮮白衣身色
- 24 殊勝心无¹⁹² 黠慧不愛多姪樂多戲樂若行住

(第十九紙) T12p228c14~

- 1 等悉皆躁¹⁹³ 疾樂見戲処好尚細衣愛好樹林
- 2 見他財富多設方便希望欲得大仙当知鬘
- 3 莊嚴天退生人中有如是相
- 4
- 5 毘邪¹⁹⁴ 娑問經卷上¹⁹⁵

183 菓¹⁸³ 果【大】 大正蔵に校注なし。
 184 无¹⁸⁴ 無【大】 大正蔵に校注なし。
 185 无¹⁸⁵ 無【大】 大正蔵に校注なし。
 186 令¹⁸⁶ 命【大】 大正蔵に校注なし。
 187 転¹⁸⁷ 願【大】
 188 華¹⁸⁸ 花【大】 大正蔵に校注なし。
 189 菓¹⁸⁹ 果【大】 大正蔵に校注なし。
 190 菓¹⁹⁰ 叢【大】 大正蔵に校注なし。
 191 受¹⁹¹ 愛【大】 大正蔵に校注なし。
 192 无¹⁹² 無【大】 大正蔵に校注なし。
 193 躁¹⁹³ 迅【大】
 194 邪¹⁹⁴ 耶【大】 大正蔵に校注なし。
 195 尾題部分に印記あり。

6

皇后藤原氏光明子奉為

7

尊孝贈正一位太政大臣府君尊妣

8

贈從一位橘氏大夫人敬写一切經

9

論及律莊嚴既了伏願憑斯勝因奉

10

資冥助永庇菩提之樹長遊般若之

11

津又願上奉 聖朝恒延福寿下

12

及寮采共盡忠節又光明子自發誓

13

言弘濟沈淪勤除煩障妙窮諸法早

14

契菩提乃至伝灯無窮流布天下聞名

15

持卷獲福消災一切迷方会帰覺路

16

天平十二年五月一日記

17

18

19

20

21

22

23

24

(後補軸付紙)

大正七年十月修理之

帝室博物館總長 (医学博士 / 文学博士) 森林太郎 (花押)

董事 奈良帝室博物館長久保田鼎 (花押)

(第十九紙 紙背)

□年四月 雀々 十三日 「」